

# おいしい伝言板

第5号 2022年 3月1日 東京自由保育園

寒かった冬もようやく落ち着き、少しずつ春の訪れを感じられるようになってきました。今年度のおいしい伝言板は今月号で最後になりますので、春から比べて成長した子ども達の食事の様子をご紹介しますと思います！

## つぼみぐみ (0歳児)



手伝ってもらいながら少しずつ自分で食べる練習中！！



スプーンを上手持ちで上手に食べられています



お皿を持って汁をこぼさず飲めています◎

## にじぐみ (1歳児)



両手でコップを持ってこぼさず飲めています。



にじぐみさんになると、スプーンを下手持ちで使えるようになる子が増えてきます。みんなとっても意欲的にご飯を食べてくれて嬉しいですね☆



## そろぐみ (2歳児)



自分でお皿の中を集めてぴかぴかにできます。「おいしい〜！」とにこにこ笑顔☆

乳児は3本の指（親指・人差し指・中指）を使う遊びを日々の生活の中に取り入れています。指先をたくさん動かすことで、物を運んだり持ったりする手の使い方を覚えて、少しずつ食事でも上手に食べることが出来るようになってきます。

幼児になるとお箸の使い方や食事のマナーを遊びの中で経験出来るようにしています。小さなスポンジをお箸で掴んで移動させたり、おままごとで食器の扱い方を知ったりと楽しみながら出来ているようです。また季節の野菜に触れる体験もしているので食材に対して興味をもち、食べることが大好きな子がたくさんいるような気がします。

## 幼児クラス (3・4歳児)



お皿を左手でしっかり持って食べることが出来ます。大きいものはお箸を上手に使って食べやすい大きさにする姿も。

## みどりぐみ (5歳児)



1月下旬からみどりぐみは小学校に向けて単独行動を行っており、自分で食事をトレーにとって、席まで運びます。テーブルに並べる際もごはん・汁・主菜・副菜を正しい位置に並べる事が出来ます。この時期は調理室からみどりぐみの食事風景が見えるので、より成長を感じられます。

## 調理室から

保育園では子ども達の食べる姿や、食事の感想などを聞いて日々の献立を考えています。子ども達の発想はとても豊かで、私たちの方が「なるほど、そうしたらいいのか！」と献立作成の参考になっていることも多々あるほどです。

これからも少しでも子ども達がおいしい！と思ってくれる給食の提供と食事の楽しさを伝えていけたらいいと思います。また、おうちの食事の悩み事がありましたらいつでも調理室にお声掛けください☆